

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34 (13)	○災害対策 年2回実施しているが全て火災による訓練となった。また、実施記録も不足している。	火災はもちろん自然災害などの訓練も行い、実際の場面に遭遇しても慌てずに対応できるようになる。	・年2回実施のうち、火災訓練と自然災害の訓練を分けて行うように努力する。 ・実施記録を残しいつでも誰でも閲覧できるようにする。	12ヶ月
2	6 (5)	○身体拘束をしないケアの実践 身体拘束の研修が不足している。	身体拘束の内容をもう一度理解し、自分自身を振り返る機会を得られるような身体拘束廃止の研修に取り組む。	・身体拘束廃止委員会の開催後はどんな形であれ社内研修を行うよう努める。 ・外部主催の身体拘束研修に参加できる機会を作る。	12ヶ月
3	48 (18)	○日常的な外出支援 新型コロナウイルスの影響もあり外出機会が減っている。	ドライブ等の回数を増やし利用者が満足できるようにする。 利用者個人的な希望(買い物や散歩等)があれば対応できるよう工夫する。	感染予防に努めながら要望のあるなしに関わらず柔軟に対応できるようにする。	12ヶ月
4	37	○日々のその人らしい暮らし 重度の認知症の方や難聴の方等が周囲の会話や状況を把握できず孤立する時がある	重度の認知症の方や難聴の方も周囲の状況が分かり会話等を楽しめるようにする。	筆談で伝えたり、職員があいだに入り孤立しないよう努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。